

2021年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部／研究科 政治学科／専攻 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 北京大学
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2021年 9月 1日 ～ 2022年 7月 31日 出国日 2021年 8月 12日 最終帰国日 2022年 7月 25日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

中国へ行く前と比較し、間違いなく中国語能力には磨きがついたと思います。留学当初は教授の話すペースについていけず、授業のノートを取るのに苦労しましたが、留学2学期目には中国語を聞き取ることに慣れスラスラとメモを取れるようになりました。課題でレポートや論文を書くことも多かったので、専門的な学術用語もたくさん覚えることができ、中国語の語彙力が上がりました。

留学中にはなるべく中国人の学生と話をすることを心がけました。最初は恥ずかしがって、なかなか自分から声をかける勇気がなかったが、思い切ってチャレンジすることで友達を作ることができたので、進んで挑戦する精神が大事だと思いました。

留学を通して、高度な語学力が身についただけでなく、コミュニケーション能力も鍛えることができ、自分にもっと自信がついたように感じます。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

中国の地理を把握することです。北京大学には全国のさまざまな場所出身の生徒が集まっているので、よく「どこ出身か」についての話になります。相手の出身地を聞いてすぐどの場所か分かるようにすると、話について行きやすくなります。加えて各都市の特徴などについても覚えておくと、よりと話が弾むと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

少人数授業では、先生に当てられることが多いので、常に授業に集中しておくことが必要でした。大人数の授業では、挙手して質問に答えると成績が加点されることがあるので、積極的に発言する学生が多かったです。いつでも質問に答えられたり、自分の意見を述べたりできるように、授業の予習をすることも大事です。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

北京大学はとても広く、現地の学生はみんな大学の中で生活しているので、大学の中が一つのまちのようになっています。キャンパス内には食堂やスポーツ施設が複数あり、スーパーや郵便局、床屋までもあります。私のお気に入りの場所は「百周年記念講堂」と呼ばれる講堂であり、そこでは定期的に映画や劇などが上映されます。大学から出なくてもほとんどのことができ、キャンパス内にいる学生の数も多いので、大学内は常ににぎやかな雰囲気でした。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

北京大学の協定留学は、中国語を学ぶコースと、専門科目を学ぶコースの二つのコースに分かれています。中国語を学ぶコースを選択すると、最初に語学補修講座を履修し終えてから、専門科目を履修する形になっています。もう一つのコースは語学の授業はありません。中国語に不安がある場合は、留学生向けに開設されているやさしめの専門科目授業や、英語を使用する授業を履修することも可能です。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面で不安なことがあったら、留学生担当の先生に連絡をすればいつでも相談に乗ってくれます。留学生向けのイベントは定期的に開催されました。学校に到着して間もなく、ウェルカムパーティがありました。そこではじめて他の留学生と交流することができ、友達を作るきっかけにもなりました。他には、春節や端午節など中国の伝統的な祭日にイベントが開かれることが多いです。イベントの内容は、飾り付けや伝統料理を作るなど中国文化について知ることができるようなものになっていて、どれも面白かったです。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

協定留学生向けの奨学金はありません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

北京大学がある地域は大学が集まるエリアで、治安は良かったです

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

真面目な学生が多く、遊びに誘うと断られてしまうことが多々ありました。遊びではなく、「一緒に自習しよう」と勉強に誘ってみると快く来てくれることが多いです。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Marxist Views of Journalism (2 単位)	
General Introduction to Journalism & Communications (2 単位)	
History of International Relations (I) (3 単位)	
History of Chinese and Foreign City Planning (2 単位)	
Chinese Folklore and Social Life (2 単位)	
Modern Chinese Literature(1) (2 単位)	
Psychology of Love (2 単位)	
History of World Cinema (2 単位)	
Seminar on Famous Reporters (2 単位)	
History of reform and opening up (2 単位)	
News Commentary (2 単位)	
China's Foreign Relations from Ambassadors' Perspective (2 単位)	
Politics and Diplomacy of Modern China (2 単位)	
Space Exploring (2 単位)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額(現地通貨)約 3300 元、(日本円)約 66000 円

(3) 食事

食事付き(朝・昼・夕) / 自炊 / その他(食堂・デリバリーサービス)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他()、計 5 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

私は2人部屋を選択しました。リビングとトイレ、シャワールームが共有スペースで、寝室は一人一部屋あります。週に2回清掃員が共有スペースを掃除してくれ、部屋の清潔感を保つことができるのが良かったです。また、寮で困ったことがあれば24時間対応のサービスカウンターへ電話するとすぐに駆けつけてくれるのもとても便利でした。自炊をしたい場合は、各階にある共有キッチンへ行く必要があります。コンロがひとつしかなく、一度に一人しか使えないので、そこが不便でした。部屋で料理をすることも禁止されているので、自炊をすることが難しいのは少し残念でした。

4. 費用について

(1) 学 費

協定留学のため現地大学への支払いはなし。(現地通貨)約 、(日本円)約 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他()、(日本円)片道約 20 万 円(コロナ期間中の渡航だったので通常より高額でした。)

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 5500 元、(日本円)約 10 万 円

※宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他(現地のキャッシュカード・電子決済【WeChat/Alipay】)

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

クレジットカードが使える場所はほとんどありません。現金も使えない店が時々あるので、中国電子決済ツールをスマホに入れておく必要があります。支払いは基本的に全てスマホで行うので、外出時にスマホの電源を切らさないように常に注意しなければならぬのが大変でした。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

海外留学奨学金 15 万円を受け取りました。学生寮の家賃の支払いに使用しました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

AIG 損害保険株式会社

(2) 保険料

270,140 円

(3) 加入した保険の種類、内容

海外旅行保険

内容：傷害死亡、傷害後遺障害、治療・救援費用、個人賠償責任保険など項目への保険適用

(4) 感想、良かった点・悪かった点

保険料金は高額でしたが、留学中に病院へ行った際の費用はすべて保険金を申請することができました。万が一高額な医療費が発生する場合は考えると、保険に入っておくと安心だと思います。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

~~手荷物~~ / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

日本の薬やスキンケア用品。現地のは体や肌に合わないことが多かった。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

特になし。

(4) 持って行けば良かったと思う物

日本のお土産。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

平日は授業以外の時間に、図書館で自習をすることが多かったです。図書館は各席にコンセントがついていて、長時間のパソコン作業も心配ないです。また、「野良猫愛護協会」というサークルに入り、キャンパス内で暮らす野良猫に餌をあげたり、猫の里親を探したりする活動を行いました。北京大学のキャンパス内は自然が豊かで様々な動植物にも触れ合え、日々の癒しとなっていました。

(2) 週末

週末は寮でのんびりと過ごしたり、友人と大学の外へ出かけたりして過ごしました。学生寮のすぐ隣にバスと地下鉄の駅があるので、遠い場所へ行くのも便利でした。よく行っていた場所は、「前門」と呼ばれるショッピングストリートです。このエリアには歴史のある建物が多く、北京らしさを感じられる場所でした。

8. 後輩へのアドバイス等

私は留学当初、日本人留学生とばかり遊んでしまっていたことがあり、少し後悔しています。現地で日本語を話せる仲間と一緒にいるのは確かに落ち着きますが、それでは留学の意味がなくなってしまうので、勇気を出して中国人の友達をたくさん作ってみてください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。